やひこ 議会だより

188号

平成30年1月25日

弥彦村議会

〒959-0392　新潟県西蒲原郡弥彦村矢作
TEL　(0256) 94－3131（代）
TEL　(0256) 94－1028（直通）
FAX　(0256) 94－3216
http://www.vill.yahiko.niigata.jp
Eメール:gikai@vill.yahiko.niigata.jp

五穀豊穣と厄除けを祈願
弓始神事（彌彦神社）

12月定例会

あごだしうどん開発事業（総括質疑）…… P3～4
旧やひこ観光ホテル跡地利用（弥生さん）…… P8
7人の一般質問（一般質問）…… P9～15
好調な「ふるさと納税」（1月臨時議会）…… P16

ごあいさつ

謹んで皆さまのご健康とご多幸をお祈りいたします

弥彦村議会

12月定例会

12月7日～18日

平成29年第8回12月定例会は、12月7日から18日までの12日間の会期で開かれました。

村長から提案された専決補正予算2件、条例制定1件、条例改正4件、補正予算4件、その他3件、計14議案を慎重に審議しました。

一般会計補正予算を賛成多数で修正可決し、修正部分を除く原案を賛成多数で可決。これ以外の議案は全会一致で承認・可決しました。また、「道路財特法による補助率等のかさ上げ措置に関する意見書」提出の議員発議案は、最終日に原案どおり可決しました。

一般質問では、7人の議員が農業政策方針、新潟広域都市圏連携事業、観光協会の広域観光、インクルーシブ教育取り組みの現状、公共施設更新の財源、自主防災組織の拡充、小林村政3カ年の検証などについて質問を行いました。

12月定例会で決まったこと

平成29年度補正予算（専決処分）

○一般会計

505万円を追加し、総額は39億9801万6000円となりました。

〈歳入の主なもの〉
- 国庫支出金　450万円
- 諸収入　55万円

〈歳出の主なもの〉
- 総務費　選挙費　450万円
- 商工費　観光費　55万円
- 農林水産業費　88万円
- 農業振興費　△88万円
- 予備費

平成29年度補正予算

○一般会計

6092万6000円を追加し、総額は40億5894万2000円となりました。

〈歳入の主なもの〉
- 国庫支出金　1909万円
- 県支出金　1662万円
- 諸収入　2017万円
- 村債　450万円

〈歳出の主なもの〉
- 総務費　一般管理費　883万円
- 徴税費　△584万円
- 民生費
- 社会福祉総務費　974万円
- 障害福祉費　3851万円
- 土木費
- 道路維持費　1150万円
- 雪害対策費　527万円
- 災害復旧費
- ガケ崩れ災害復旧費　300万円
- 予備費　△3470万円

○国民健康保険特別会計

1764万円を減額し、総額は9億4156万1000円となりました。

○介護保険特別会計

30万6000円を追加し、総額は8億4518万4000円となりました。

○競輪事業特別会計

7億2500万円を減額し、総額は121億3500万円となりました。

条例の制定

○弥彦村交流広場設置条例

条例の一部改正

○弥彦村職員の勤務時間、休暇等に関する条例

○弥彦村職員の育児休業等に関する条例

○弥彦村村税条例

○弥彦村国民健康保険税条例

その他の議案

○新潟市と西蒲原郡弥彦村の境界変更の申請

○字の変更

○村道の認定

○道路財特法による補助率等のかさ上げ措置に関する意見書

総括質疑

12月11日

一般会計 補正予算

職員の昇給の違いは

柏木議員　一般行政職、技能労務職の給与で1号～4号の昇給がある。人事評価が始まったから昇給の差が出たのか。

総務課長　人事評価とは関係ない。1・2号給は年齢があり、一定年齢に達すると昇給が延伸となる、採用の関係で3号給である。

地域おこし協力隊募集は

柏木議員　予算が減額となっている。観光協会には応募チラシがある。応募状況は。

総務課長　現在まで応募はない。1月からの報酬は確保してある。

柏木議員　他市町村は協力隊が活躍している。どの様な応募をしているのか。応募がなかったら来年度募集するのか。

総務課長　観光業務であり、観光協会勤務となる。募集中止したわけではなく、引き続き募集を行う。東京で合同説明会があり、今後も引き続き募集に努める。

弥彦キッズは

板倉議員　地域交流施設管理費の54万3000円のキッズ停止の減額は。

福祉保健課長　旧弥彦保育園で行っていた指導を止めた。

教育課長　指導員の確保が難しい。

障害福祉費について

板倉議員　発達障害のシステム開発委託料の内訳は。

福祉保健課長　今年度から始まった、障害児巡回支援事業の補正である。

板倉議員　発達障害について、これからの対策は。

教育長　弥彦村で一番大事なのは、保護者の理解が一番である。子供の状況について、どうしたらいいか悩んでいる方へのケア・対応をどうするか。※(注)SSWさんから週一回来校してもらい、全体として考えてもらいたい。

　それらの理解を高めるための啓発、啓蒙を強化したい。福祉保健課と連携し、当事者、保護者へのケア、地域全体の啓発、啓蒙を強化したい。

発達障害巡回委託料は

柏木議員　障害福祉費委託料の障害児巡回診療費60万4000円の補正予算が提出された。文科省の調査で発達障害の可能性は児童・生徒で6・5%が報告されている。村の障害の実態を聞きたい。

教育長　医師からの診断、学校内の調査、先生方からデータが出てくる。先生、校長の感覚でこれよりも高いと認識している。後日調査し説明する。

あごだしうどん

赤川議員　あごだしうどん開発費29万5000円の内容は。

副村長　弥彦村が地域連携をしている粟島浦村のあごだしと、琴平町の讃岐うどんを新たに組み合わせることで、だしの工夫が必要であり、その調達経費などである。

観光商工課長　何回か試食会を行い、プレオープン時などの際、皆様からの意見等も聞く経費も含まれている。

おもてなし広場について

花井議員　村がおもてなし広場を観光協会へ無償貸与し、その管理運営を全面委託する実質的な委託料は。国の交付金2億3279万円の半額は村の起債による年次償還だが、毎年の償還額は。

副村長　①ギフト配送センター、広場、雁木、足場等の清掃、管理料として430万円、②農産物直売所、フードコート（2店）、喫茶店、土産物店（4店）、農産物加工施設（3店）等11業者からの賃借料が月最大43万5000円、年500万円、③観光協会への人的支援として事務局長報酬が年間360万円、④起債の償還金が年間4～500万円となる。

花井議員　村が観光協会関係へ支出する経費は出向される事務局長への給与を含めると1000万円を超えるが、観光協会への実質的な収支は。

副村長　役場からの委託料4300万円と参入された事業者からの賃借料は安全率を見て、両方で832万円の収入を見込む。支出は①フードコートの休憩所、トイレ等施設全体の共通利用部分の清掃と水道光熱費、②足湯、雁木と広場の清掃管理、③ギフト配送センターの清掃管理。広場全体で4人必要となり、光熱水費

※(注) SSW＝スクールソーシャルワーカーの略。いじめや不登校、虐待、貧困など、学校や日常生活における問題に直面する子どもを支援する社会福祉の専門家。

等を加えると支払い見込みは合計１１００万円。収支は赤字だが事務局長の人的や運用を工夫して２名分の人件費３４０万円を削減し、差し引き７６０万円として収支を合わせるなどの民間としての工夫をお願いしたい。

板倉議員　広場下手の道路拡幅工事と土留めのブロックにだいぶひびが入っているが、現状で終わりか。

建設企業課長　拡幅と電柱移設で緊急車両が通れるので良しとした。ひびへの対応については詳しく現地の確認をしたい。

競輪事業特別会計補正予算

競輪案内看板の設置

小熊議員　設置場所は。

公営競技事務所長　県道井田山から弥彦方面に向かって右側の村有地に、わかりやすい看板にしたい。

その他

新潟市との境界変更

柏木議員　決議後、県知事に申請が出されると承認されるが、新潟市に何㎡、弥彦村に何㎡の交換か、交換面積の記載がない。

総務課長　指摘の面積は７９９９㎡の同一面積で交換し、境界変更を行う。

採決　12月18日

総務文教委員長から付託案件の報告後、田中議員から一般会計補正予算のうち、弥彦村経営改善（競輪事業等）調査業務委託料を削除する修正動議が提出されました。

採決の結果、修正案が賛成多数で可決しました。

修正動議

田中議員　総務文教常任委員会で否決された、弥彦村経営改善（競輪事業等）調査業務委託料４５０万円の削除を求める修正案を提出する。

議会のたびに、実質６回連続否決され続けている案件を、前回と全く同じ内容で７回目の提案である。外部監査を必要とする、新たな課題も出ていない。

平成29年度弥彦村一般会計補正予算案中、弥彦村経営改善（競輪事業等）調査業務委託料４５０万円の削除を求める修正案を提出する。それ以外の原案については賛成である。

修正案に対する反対討論

板倉議員　今回で７回目です。

第１回目の１０００万円の時から、理事者は修正の意見を入れ、再提案したが、毎回反対。総務文教委員会で議案第65号の補正予算は、採決の結果同数のため、委員長採決ですべて否決となりました。

この議案には、一般会計補正予算のうち、歳入及び歳出の会議費・総務費・児童福祉費・保育園費・子育て支援事業・給料・共済費・教育費・予備費・地方債の補正まで含んでいます。総務文教委員会で反対された方は、これらも承知の上で反対されたと思います。選ばれし議員です。村の税金で活動されています。これこそが、「議会軽視」でないか。

柏木議員　総務文教委員会で６度提出された経営改善委託料は、今回も反対で最終日に修正動議を提出すると反対討論でした。

競輪開催目的は、村財政に寄与し、収益を一般会計に繰り入れ、道路建設、学校建設、保育園建設等の運営に寄与する目的です。

開設から１３０億円以上の収益を一般会計に繰り入れ、ここ数年競輪会計の経費節減を図り一般会計に繰り入れています。毎年漫然と同じことをしていると、正しいと認識し、経費節減に目が向かなく同じ繰り返しになります。

外部調査することで新しい血を入れて新しい発想ができます。調査結果答申をもらい、経費節減をはかり、更なる経費節減に努め、より一層の収益を上げるには、調査が必要で減額は反対です。

修正案に対する賛成討論

本多啓三議員　弥彦村経営改善（競輪事業等）調査業務委託料４５０万円については28年６月定例会競輪事業特別会計で初めて補正予算提案され否決。以降先の９月定例会まで６回の提案、いずれも否決。村長は議会の採決の重みを否定していることであり断じて容認できるものではない。

よって、修正動議に賛成する。

条例制定

花井議員　建物全体に高級感がある。全棟が雁木で結ばれた棟のフードコートには、今回、弥彦村で開発した讃岐うどんを提供する食堂のほか、チャレンジキッチン、農産物加工棟に加工室、食肉加工室、野菜加工室等がある。それに喫茶店、そば打ち道場、チャレンジ土産物店の三棟が軒を連ねる。

村民から期待され、本村観光の未来を切り開くべきチャレンジショップおもてなし広場の成否は、出店者の店舗と商品構成にかかっている。広くチャレンジ精神旺盛な優れた人々を募るべきであり、関係者の努力を期待する。農業と観光振興へ村長の熱意に敬意を表し賛成する。

弥彦村交流広場設置条例の制定について、採決した結果、全員賛成で可決されました。

総務文教常任委員会

各家庭に災害備蓄品の備えを

12月13日

付託された専決補正予算1案件は報告のとおり承認、条例改正4案件は可決、一般会計補正予算は否決、その他2案件は可決しました。

主な質疑事項

29年度補正予算

問 公図データ更新業務委託料の内容は。

答 法務局から届く土地の分筆等のデータ更新が、矢作の住宅団地造成、鮒穴の御新田川の払い下げ等で例年より多いため、システム会社に委託するものである。

問 来年度も分筆等増える予定はあるのか。

答 上泉地区圃場整備で合筆、分筆等が多くあるため当初予算で要求を考えている。

討論

弥彦村経営改善（競輪事業等）調査委託料は

反対討論 過去6度、否決された議案である。委託料450万円を削除した修正案を定例会の最終日に提出したい。

賛成討論 反対意見に応じた修正案に、新たな反対意見で否決することを繰り返してきたことがおかしいのであって、村の財政が厳しい状況で無駄を省くため必要である。

反対討論 定例会で何度も否決されている。議会の意思ははっきりしている。間をおき、慎重な姿勢に改めない限り反対である。

表決では可否同数になり、委員長採決により一般会計補正予算は否決することに決定した。

その他2案件の審査では

問 字の変更について、土地改良事業の整備に伴い、小字名がなくなるが地番はどのように割り振るのか。

答 最初に仮地番を割り振ってから法務局に提出し、法務局が地番を確定する。合筆する場合、一番早い番号を使う。

問 各自主防災組織を通じ、各家庭に災害備蓄品の周知を。

答 そのように周知を図りたい。備蓄品の一覧は広報紙に折り込みたい。

問 村債の借り換えによる財政負担の軽減を。

答 政府系金融機関は5％以下の金利の借り換えは難しい。民間金融機関の借り換えで負担軽減できれば実施したい。

付託案件外

問 1月の試験内容は。

答 会場は役場で行う。試験問題や採点は市町村総合事務組合に委託する。

問 人件費の財政負担は大きいので見直すべきでは。

答 人件費をおさえることは当然である。きめ細かい行政サービスを行うため、必要な箇所には人員を配置したい。

問 総務課臨時職員の採用通知の遅れた経緯は。

答 事務処理が遅くなり申し訳なく思う。

問 学校での色覚障害検査は。

答 今は任意で検査している。

問 弥彦体育館は一般社団法人弥彦サイクリングパーク所有である。村の施設に移管してほしい。

答 補助事業で建設したので、すぐには難しい。

要望 5年以上経てば移管できるのでサイクリングパーク理事会で議決し、村の財産にしてほしい。

昨年3月に作成したハザードマップ掲載の非常持ち出し品チェックリスト

厚生産業常任委員会

そばうち道場の利用者はだれか

12月13日

付託された専決補正予算2案件、条例制定1案件、一般・特別会計補正予算3案件、その他1案件は全会一致で承認・可決しました。

主な質疑事項

29年度補正予算

問 あごだしうどん開発事業費29万5000円の内容と誰がつくるのか。

答 旅館組合で試作品を調理してみた。今後の試作材料の購入費である。

交流広場設置条例（おもてなし広場）

問 食品加工施設、野菜加工施設で加工する製品は何か。

答 食肉加工ではハム、ウインナー。野菜加工では惣菜やジャムなどある。

意見 他のメーカーと競合して売れる製品ができるのか、良く検討してほしい。

問 農産加工施設は事業計画を再考してはどうか。

答 基本計画の見直しはできないが、円滑な運営を図るようにしたい。

問 そばうち道場の利用方法は。

答 来場者が、自らそば打ち体験ができる施設である。長野県青木村との広域連携をPRしていきたい。

付託案件外

問 救急医療情報キットの取り組み内容は。

答 救急キットは救急隊員がすぐ対応できるように、かかりつけ医院や連絡先を記入した筒を冷蔵庫に保管しておくもので、70歳以上の一人暮らしの高齢者や申請された方に配布している。

問 おもてなし広場の駐車場を全て福祉車両の駐車場にできないか。

答 福祉車両の駐車スペースは直売所とフードコートの間に2台分を設ける。

問 空き家の調査状況と空き家バンクの登録件数は。

答 件数162軒中、23軒は調査済みである。適正管理数は8軒。倒壊危険でないのが10軒、放置すれば危険と思われるものが4軒、解体済みが1軒。空き家バンクの登録済みが3軒、1軒が賃貸契約済みである。

万一のために備えたい人の救急医療情報キット

問 足湯が出来ると温泉の枯渇が心配となるが。

答 枯渇を懸念するようなものではないと考えている。

問 大戸企業団地で倒産した企業があった。村への影響は。

答 村は税金面の影響は少ない。

問 旧やひこ観光ホテルの跡地整備工事の入札が不調となったが、国からの補助金の繰り越しや、年度末まで工事が間に合うのか。

答 設計の見直しを行い、年度内に完成するようにしたい。制度としては来年度の繰り越しも可能である。

問 燕・弥彦医療介護センターの業務内容は。

答 退院時の相談。ケアマネージャーへの相談。医療機関などの相談である。

問 弥彦駅前ロータリーはバスが旋回できず渋滞になる。その対応は。

答 JRと協議したい。

問 きらめき公園の北側の御新田川を埋め戻す話だが。

答 計画時期とも不透明である。地元農家組合や土地改良区で協議となる。

問 きらめき公園に遊具を整備できないか。

答 建設や維持管理に費用がかかる。二松保育園の遊具を使っていただきたい。

問 公共施設のトイレを全面的に清掃できないか。

答 専門業者の対応を検討したい。

問 浅尾矢楯線の道路拡幅は今年度事業であるのか。

答 今年度に入札を行うが工事は次年度に繰り越しとなる。

競輪特別委員会

ナイター競輪開催に意欲か？

12月11日

付託された案件の補正予算1案件は、初日に提案説明がなされ、委員会では質疑なく、全会一致で村長提案のとおり可決しました。

平成29年度競輪収支見込、ミッドナイト競輪の売上げ状況報告など説明がありました。

付託案件外

主な質疑事項

来年度の開催日程等

問 記念競輪の日程は決まっているか。

答 記念競輪の開催日程は、7月28日から31日までの開催。

問 記念競輪の際、招待者席を広くできないか。

答 毎年仮設席を用意し、対応しているが、日や時間帯によっては集中し入りきれないことがあるのは把握している。今の施設では難しい。

問 売上を上げるためにも、高額購入が見込める招待者が余裕をもって入れるように、寛仁親王牌開催時並みの大きさの招待席を用意できないか。

答 今は競輪場でも冷暖房完備があたりまえ、弥彦も施設改修に向けて検討したい。

問 招待者はどのようにチェックしているか。

答 招待状を持参いただき、受付名簿で全員チェックする。

問 ファンを増やすには招待者を増やすことが有効である。招待者の基準等はあるか。

答 基準はない。前年度までの来場状況を調べながら招待状を発送している。

問 ※(注)ドカントの売上はどのようなときに発生するのか。

答 GⅢ以上の開催及び全国競輪施行者協議会により、調整されたFⅠの開催において、立川市と共同で開催することにより、車券を発売する。

今年度は記念競輪と9月の関東カップFⅠでの売上になる。

ナイター競輪

問 ミッドナイト競輪を開催することができた。ナイター競輪も開催できれば更に収益が向上するのではないか。

答 ナイター競輪の開催は検討している。ただし、周辺の皆様への説明等も必要なのですぐに始めるということはできない。また、いったん始めたら簡単に止めることはできないので十分に検討していきたい。

問 ナイター競輪開催の日数制限等はあるのか。

答 ナイター競輪に限らず、すべての競輪開催において制限があり、調整が必要になる。

年末最後の競輪で最上位レース「KEIRIN グランプリ」に出場した諸橋 愛選手

ファミリー・初心者

問 初心者が自動発売機で車券を購入する際、マークカードを誤って記入してしまい、スムーズに購入できないことが多い。有人窓口を各所に設置することはできないか。

答 案内窓口及びガイダンスコーナーでマークカード記入方法を丁寧に指導している。

問 ギャンブル依存症対策に伴う規制等はあるのか。

答 本人や家族等から申請がある場合は、入場規制等を行う。相談があった場合は、医療機関等の紹介を行う。

また、掲示物等にも注意喚起の表記をしている。

※(注) ドカント＝特定の競輪場で1日の複数の競走の1着、または1着と2着の選手をすべて当てる「重勝式」投票(インターネット限定)のこと。

旧やひこ観光ホテル跡地利用

こんにちは弥生です

ギカイ君　弥生さん久しぶりです。

弥生さん　本当に久しぶりにお会いしましたね。

ギカイ君　弥彦地内を散歩してますが景観が変わってきましたね。

弥生さん　私もそう思います。ギカイ君もそう思いますか。

ギカイ君　弥彦駅前は旧やひこ観光ホテルがなくなり、更地になっていました。

弥生さん　そうですね。私もよく近くをとおりますから跡地利用がどうなるのか関心を持っていました。跡地は臨時駐車場になっていますね。

ギカイ君　弥彦公園に隣接し、菊まつり期間中は、毎日たくさんの観光客の車でいつも満車状態でした。

弥生さん　議会でも菊まつりの混雑で駐車場不足のお話が出ていましたね。

ギカイ君　観光客が神社の菊の鑑賞、弥彦公園の紅葉狩りに来ていますが、村民から車の渋滞でたくさんの苦情が寄せられたと聞いています。

弥生さん　観光ホテルの跡地を、臨時駐車場として利用できたのは大変良かったと思います。このまま駐車場として利用できないのですか。

ギカイ君　国から撤去費用の申請をして補助金をもらいましたから、駐車場にできないそうです。

弥生さん　跡地利用はどうなるのですか。

ギカイ君　補助金には整備制約があり、今年度中に跡地の整備を完了しなくてはなりません。年度内に工事を完了する予定です。

弥生さん　観光ホテル跡地はどの様な施設ができるのですか。

ギカイ君　駐車場、ベンチ、東屋（休憩所）で足湯、緑地、広場（イベント広場）として利用できます。

弥生さん　大変ありがとうございました。環境が良くなり整備されますが、駐車場が少なくなるのが心配ですね。旧グランドホテル跡地の計画が決まり、おもてなし広場もだいぶ工事が進んでいますね。

ギカイ君　12月中旬に観光協会の方々と、議会で進捗具合を見学しました。

休憩所や足湯ができる弥彦駅前の広場
（旧やひこ観光ホテル跡地）

弥生さん　遠くからいつも見ていますが、どんな様子か教えてください。

ギカイ君　そうですね。外観は黒を基調とした落ち着きのある建築と思います。

　直売所はすでに完成をしていますが、フードコート、喫茶、そば打ち道場、お土産店等からなっています。建物の内側は雁木が廻り黒で統一された落ち着いた建物の印象を受けました。雁木の中に2カ所の足湯があり、誰でも利用できる施設になっています。完成は3月末の予定です。

弥生さん　そうですか。早く完成が楽しみですね。誰がこの施設を管理するのですか。

ギカイ君　村から観光協会が委託を受けました。

弥生さん　大変よくわかりました。この施設が完成して観光客がたくさん来てもらいたいと願っています。

安達丈夫議員

弥彦村農業政策方針と近郷基幹病院整備は

村長＝県の指針に協力願いたい（農業）
早い実現を期待している（病院）

弥彦村農業政策方針

質問　来年から国の生産調整廃止に伴い補償制度もなくなると聞く。

農家にとっては、販売価格の安い加工米や備蓄米などにせず、全量を一般米の価格で出荷できると思っている。

国の方針では、生産調整を促すような話も出ているが、弥彦村農業政策方針を伺う。

村長　米の生産について、国は平成30年産の作付から、各集荷業者が中心となり、需要に応じた米生産を主体的に判断し行う事と、産地が行政による生産数量目標の配分に頼ることなく、生産者や集荷業者が中心となり、需要に応じた米生産を主体的に判断し行う事となる。

県は今年5月に新潟県新潟米基本戦略を策定し、需要に応じた米生産を基本としつつ、主食用米、非主食用米を合わせた米全体での新潟米の需要拡大と、生産者所得の最大化のための多様な米づくりを推進している。

農業者個別に米の生産目安の提示をするかは、地域再生協議会の判断に委ね、村としては、来年2月を目安に、各農家へ平成30年産米の生産目安を示し、あわせて産地交付金や村単独助成も説明する予定。弥彦村総合戦略にあるように米依存からの脱却を目指し、弥彦むすめに次ぐ新たな園芸作物の産地化などに向け、産地交付金の活用方法の見直しを含め、普及センターやＪＡなど関係機関と協力して取り組み、弥彦村農業の維持、発展を図っていきたい。

近郷基幹病院整備

質問　燕労災病院の移転建て替えが計画されており、県立吉田病院の移転についても陳情に行かれたとの事であるが、それぞれ基幹病院の救命救急医療及び一般診療、医療について、弥彦村としての取り組みと進捗状況を伺う。

村長　入院を必要とする病気や、特殊な治療が必要となる場合は、県立吉田病院や燕労災病院等、大きな病院が必要不可欠。

県央基幹病院は、平成35年度開院に向け現在準備が進められている。

燕市との連名で、県知事及び病院局長あてに、移転改築すること等を内容とする新潟県立吉田病院改築に関する要望書を提出した。

県の病院局は、今年度、吉田病院整備基本計画策定委員会を設置する。

農家の主力「伊彌彦米」

「新潟広域都市圏」連携事業は情報発信不足ではないか

村長＝今後きめ細かい発信をしていきたい

田中満男議員

質問　4月から「新潟広域都市圏」連携事業が実施されて8カ月になるが、それぞれの事業概要と、弥彦村の対応はどうなのか。

村長　弥彦村は43事業の内、30事業に参加している。代表的な事業では、観光と教育に関する事業。広域観光周遊ルート形成事業では、パンフレットなどを多言語で作成し、首都圏や圏域に配布し観光PRを推進する。現在作成中である。教育事業は、各市町村の住民が、利用しやすい圏域の図書館貸し出しサービスを平成30年4月から新潟市からも受けられる予定。

質問　まだまだ圏域全体の情報発信が不十分で、現状がどうなっているのかもサッパリわからない。もっと情報発信を積極的にすべきではないか。現に、他市町では広報誌に掲載して11月には、施設利用の共通割引券を配布している。（弥彦では12月25日の広報で、ようやく告知・配布がなされた）

もっと行政側では新たな情報を他市町よりも早めに把握し、発信を積極的にしてほしい。

村長　今後はきめ細かな情報発信をしたい。

公共施設利用料の見直しは

質問　住民の方々は、図書館を初め、体育館、公民館など公共施設の相互利用に大きな関心・期待を寄せている。各施設の利用料金を他市町の動向を踏まえ改定をすべきでないか。

村長　各施設の相互利用は大事だと思うし、協議は必要だと思っている。利用料金は財政の問題も含めて検討したい。

質問　公民館活動について、岩室公民館の担当者は、相互利用に向けてお互い実情を話しながら、一緒に何かイベントをやるなり交流を深めたいと積極的だが。

教育長　新潟市との相互の関係がどうであるか、広い視点で情報を把握して、相互協力できるよう検討し、進めていきたい。

小・中学校の通学路

質問　以前から問題になっている、矢作駅前の歩道設置はどうなっているか。

村長　一部不明な地権者の問題で、棚上げ・凍結になっているが、地域振興局担当者から、県のほうで何とかやるとの返答を得ている。平成29年度県予算の中では見送られたが、三条地域振興局と一緒に働きかけて必ず実現したい。

質問　通学路において、木の枝の張り出しは、危険であり早急に対処すべき。街灯、通学路歩道除雪などを再点検し改善を望む。

教育長　毎年地域ごとに、夏休み前に通学路の点検を行い、PTA会長と学校長の連名で危険個所改善の要望書を村長に提出している。要望書に基づき、合同で現地確認を行い、対処方法を協議している。木の張り出し、街灯、除雪については建設企業課で対処している。

早急な歩道設置（向って右側）が望まれる矢作駅前県道

柏木文男議員

観光協会の広域観光の取り組みを

村長＝若い世代に期待、今後に繋げたい

質問　県は首都・関西圏観光の意識調査が発表され、18歳以上の男女をインターネット調査を行なった。

新潟へ行きたい理由を聞いた。首都・関西圏も美味しいものを食べる、温泉を楽しむ、自然や風景を見て回る。

認知度は首都・関西圏で佐渡が高く、旅行は、首都圏は湯沢・魚沼、関西圏は新潟・阿賀が多い。

訪れた回答で首都・関西圏も弥彦・三条が7エリア最下位、行きたいところ、首都・関西圏も7エリア最下位。

意識調査及び観光入り込客をみると、首都圏認知度で苗場スキー場、湯沢温泉、佐渡金山の順位、13番彌彦神社、弥彦菊まつ23番、行ってみたいは、長岡花火大会、佐渡金山、越後湯沢温泉の順位、14番彌彦神社、18番弥彦温泉、弥彦菊まつり44番で首都圏の認知が低い。観光の意識調査及び入り込客の現状と弥彦観光の現状を、どの様な感想をお持ちか。

村長　ネットを使った調査で若い層の回答と思われ、冬期のウィンタースポーツが考えられる。

県内は4.2％の減で、7市町村が増加し弥彦村は0.7％増。若い世代から魅力を感じてもらえるよう、結果を踏まえ今後に繋げていく。

質問　観光客の誘致は関東圏を行っていくと思うが、行政、観光協会の観光宣伝はどの様に行うか。

村長　燕市と共同で首都圏ＰＲしている、ＪＲ東日本と主要駅大宮、東京、品川、オリパラ新虎通り等で観光ＰＲを実施した。

質問　来年以降の観光行政はどの様な取り組みを行うか。

村長　来年2年間ＪＲのＤＣ※(注)が展開する、東京オリンピックに向け県が大型予算を組む、県央地域と連携し対応する。

来年3月から格安航空会社が新潟・大阪関西線を開設する、新潟空港から二次交通の対応を検討する。

2020年東京オリンピック・パラリンピックのシンボルストリート「新虎通り」イベントで村をPR

質問　一般社団法人弥彦観光協会が法人化されたメリットは。

村長　日本版ＤＭＯは地域で稼ぐ力を引き出し、地域の誇りと愛着を醸成し観光地域の経営の視点に立って観光地づくりを目指す。

質問　弥彦、岩室、分水、寺泊で旧弥彦地区観光連盟があり、共同で観光パンフ作成、イベント参加、キャラバンを行った。市町村合併で発展的解散した。観光連盟を発足し、弥彦、新潟、長岡、燕の観光協会で広域観光圏を行い、行政・観光協会が一丸となり、連盟を進言しては。

村長　行政は新潟市連携中枢都市圏構想、中越文化観光産業支援機構の取り組みで広域パンフ作成やルート検討している。今後の広域観光振興は法人化された観光協会が主体的な取り組みを期待している。

※(注)ＤＣ＝デスティネーションキャンペーンの略。ＪＲグループ旅客6社と指定された自治体、地元の観光事業者等が共同で実施する大型観光キャンペーンのこと。

インクルーシブ教育の現状はどうか

村長＝お子さんは村の宝物
出来るだけのことはやりたい

板倉恵一議員

質問　昨年12月議会でインクルーシブ教育について質問した。

障害のある子も、ない子も共に学ぶ事を２０１４年に批准した障害者権利条約。その時に質問した保育園、小学校、中学校と一貫した取り組みの現状は。

教育長　特別支援保・小・中連携推進委員会を立ち上げた。委員会では、家庭と学校が、子どもの情報を共有して、互いに相談、支援する個別教育支援計画である。

来年度よりこの計画を使って、家庭、保護者、状況によっては医療機関をつなぎ活用したい。

もう一つ、地域住民への特別支援教育について啓発活動を行う。

質問　児童福祉法第二条には「国及び地方公共団体は、児童の保護者と共に健やかに育成する責任を負う。」と謳っている。麓に弥彦学園と併設された養護学校があったが、閉園の理由は。

教育長　昭和40年に開園し平成13年の閉園まで、この地域の特別支援教育推進に大きく寄与した。

今、新潟西特別支援学校と県立吉田特別支援学校に通っている児童がいる。でも新潟西特別支援学校が定員オーバーで市外の子どもたちの受け入れが厳しい。今、多くの市が単独で特別支援学校を創設しているが、県央地区は弥彦学園閉鎖以降設立されてない。燕市と連携した対策も必要と思う。

村長　打開策に努めたい。お子さんは村の宝物である。出来る限りのことはやりたい。村の財政は厳しいが、こういう面の優先的な対応は、覚悟をしている。議員の皆さん是非ご理解を賜りたい。

社会福祉協議会と地域包括支援センターの役割分担について

質問　地域包括支援センターは地域の高齢者を様々な面から継続的・包括的にケアする為の、中核的な権利擁護、介護予防等の機関である。

社会福祉協議会は社会福祉法において、地域福祉推進の中核と位置づけられ、住民に身近な福祉活動を行い、住民の活動を支援する民間の組織である。

昨今、共通する使命が多くあり、昨年から地域包括センターのスタッフが四名に増員され、福祉の充実は嬉しい。

それぞれ役割があると思うがどう考えるか。

村長　地域包括センターは介護法に基づき、市町村が設置するもの。弥彦村では、運営を桜井の里に委託している。一方、社会福祉協議会は住民主体の理念に基づき、地域の実情に応じて地域福祉事業を行う事と考える。

質問　地域の課題を考えた時、一組織だけでは良いアイデアは難しい。お互いの情報を交換する中で、強み・弱みが分かると思うが。

福祉保健課長　生活支援コディネーターを社会福祉協議会に委託して、村の職員と一緒になって地域の課題を見つけている。

弥彦学園閉園により施設はやひこの里へ
（弥彦中学校の吹奏楽部による演奏）

本多隆峰議員

公共施設の更新についての見通しは

村長＝財政状況を踏まえて 優先順位を決めて進めたい

質問　近年は大地震や豪雨などの自然気象による災害が甚大になり、そのたびに国民の生命と財産を守るため、公共施設の老朽化、インフラ整備の対策の必要性が重大な課題となっている。

弥彦村公共施設等総合管理計画によれば、今後40年間で公共施設及びインフラの更新にかかる整備費は、６１８億円、１年当たりで15億５０００万円との推計である。

財政の健全化を図りながら、必要な公共事業予算を持続的に確保し実現するための具体策は。

村長　この計画は、村が所有している公共施設等の総量を把握し、長期的視点で更新・長寿命化を、計画的に行っていくことを目的とした計画である。

厳しい財政状況の中で、現状の公共施設等の総量を維持し、大規模改修や建て替えを実施することは、巨額な財政負担を伴う。

今後は、各施設の老朽度や利用実績、ニーズ等を踏まえて、施設の見通し、統合や廃止、維持管理、人件費のあり方など整理が必要と考える。特に、村民の生命や財産にかかわる施設は最優先であり、教育施設の更新は喫緊の課題である。財政状況を踏まえ、優先順位を決めて進めたい。

本計画は、10年ごとに見直すこととし、村民の意見を聞きながら進めたい。

大規模改修がまたれる小学校

質問　平成28年９月、弥彦村小規模企業の振興に関する基本条例を制定した。小規模企業の持続的な発展を促進し、地域経済の活性化及び村民の生活の向上に寄与することを目的として制定された。

制定後、どのような施策がなされ、成果があったのか。また、来年度予算編成を迎え、今後の施策を伺う。

村長　この条例は、弥彦村商工会からの要請を受けて制定したものである。現在、県内30市町村の内、17市町村で制定され、補助金等の施策に反映しているのは３市となっている。

弥彦村では、金融機関への地方産業育成資金にかかる預託や県信用保証協会の保証料負担により資金調達の支援を行い、また、商工会に補助金を交付し、経営相談、指導の推進等を図ってきている。

条例では、小規模企業者の具体的な努力を促進することが基本であり、小規模企業者の主体的な取り組み状況を把握しながら、商工会の動向を踏まえて、施策のあり方を検討したい。

質問　小規模企業関係団体の協力を得ながらとあるが、商工会との連携についての見解は。

村長　小規模企業者については、大変憂慮している。弥彦村商工会、観光協会と一緒になり、具体的方策について村に提案があれば、是非受け入れていきたい。

菊まつり期間中の渋滞対策は

村長＝関係機関と協議したい

小熊　正議員

質問　今年も11月1日から始まった菊まつりや、紅葉谷を見るために多くの観光客が訪れて、温泉街や各道路は大渋滞となった。

温泉街や駅前などの道路拡幅を行い、交通の流れをよくできないか。また、シャトルバスや駅裏の道路の拡幅はできないか。

村長　今年も菊まつりや、紅葉谷がマスコミで多く紹介されたため、たくさんの方から弥彦に来ていただいた。

この時期の渋滞対策として、印刷物とホームページで公共交通機関の利用を呼びかけるとともに案内表示の見直しを行い、また、駅前や新潟交通事務所跡地を臨時駐車場として対応した。

温泉街から駅前までの道路は県道であり、弥彦地区全体の整備について地元の協力が必要である。都市計画道路として関係機関と協議したい。

質問　避難準備情報や、避難勧告を発令した場合の情報伝達や避難行動の確認、訓練の内容は。

自然災害を想定

村長　去る10月15日、地震災害の想定で災害本部の設置情報の伝達、避難行動。そして自主防災組織の活動を重点として防災訓練を実施した。

地震発生を午前8時30分として地震による土砂災害の危険が発生したので、役場庁舎内に災害対策本部を設置。午前8時40分に土砂災害警戒区域に対して避難勧告を発令し、中学校体育館に避難所を開設した。

情報伝達訓練として防災行政無線で音声放送と登録制の防災情報メールで配信するとともに、自主防災組織から災害対策本部に安否確認の連絡をしてもらい、また集落センターにおかれている災害用公衆電話を使って連絡する体制も確認した。

避難訓練の周知方法は、「広報やひこ」に開催告知のチラシや回覧板等で参加を呼びかけた。

また、避難行動要支援者等の災害弱者の把握、車椅子を使った避難訓練や炊き出し、消火訓練も実施し、11組の自主防災組織から参加していただいた結果、中学校体育館に84人、集落センターや、公会堂の避難施設に463人が参加した。

質問　専門的なAEDや、消火栓の訓練は自主防災組織の人達や地域の人に訓練をしてはどうか。

村長　今回の訓練は自主防災組織とは別に、社会福祉協議会と赤十字奉仕団、中学生20名の参加があった。

地域包括ケアシステムを活用してお互いに助け合って避難するが、時に自主防災組織の方も活動していただければ、より安全な村になるので今後検討したい。

防災訓練で避難所の受付をする赤十字奉仕団

一般質問 12月8日

本多啓三議員

検証・小林村政３カ年の迷走

村長＝全く手を付けてないのは 木質バイオマス発電

公約は実現に向かっているか

質問　36年ぶりの選挙戦では耳ざわり、目ざわりの良い言動により選挙が行われた。公約を示し有権者はその実現を信じ投票行動をした。公約は実現に向かって推進されているか。

村長　公約をよく覚えていないので確認をした。おもてなしの村づくり、ガラス張りの村政、木質バイオマス発電による財政強化。全く手を付けてないのが木質バイオマス発電による財政強化である。

質問　27年度で中越よつば森林組合に１９９万８０００円で調査・委託した報告書では、弥彦村の推定材積量で可能な発電規模は１キロワット未満で発電事業は難しいとの調査報告である。

村長　私一人のアイデアで、村の財政を強化するには弥彦山の森林を使ってできないかとの発想でやった。知人に相談したら難しいが不可能ではないとのことで公約に書いた。

質問　弥彦村にある森林資源では発電は無理。現状の資源を利用し農業用ハウスの暖房利用にと議会での答弁もある。28年度では１００万円の調査費も減額。29年度では事務的に研究したいと予算計上しなかった。検討結果は。

村長　木質バイオマス発電ありきでなく、財政強化するために一つの方便でないかと公約に掲げた。財政力強化の手段としてである。

副村長　発電と発熱をセットで考える必要があり、どのような技術が確立されるかが大前提である。

28年度は赤字決算

質問　自前で予算編成した28年度決算では人件費・物件費が大幅に伸びている。一番抑制しなければならない部分。また、自主財源ではふるさと納税寄付金と他会計や基金からの繰入金に頼った決算である。今後の財政需要に対応するには固定的な経費を抑制し、寄付金等は積み立てに回して財政運用を図るべきでないか。

村長　同じ意見である。人件費については10数名増えているが保育士を中心に採用した。物件費についてはご指摘の通り大幅に増加、28年度は実質赤字決算になった。30年度予算については厳しい姿勢で対応したい。

裁判の行方は

質問　疑惑に満ちた指名停止裁判について。11月15日新潟地裁で被告代表小林豊彦、証人小林保夫両氏の尋問の中で、また聞きを事実確認せず指名停止し、ほころびが一気にでた尋問内容であった。終えての感想、所見を伺う。

村長　顧問弁護士からは、発言を止められており論評・意見・感想は差し控えたい。内容は裁判所でオープンになっており閲覧できる。

質問　93万２０００円の税金を使って裁判している。議会に対し経過報告は首長としての責務でないか。

村長　顧問弁護士に従っている。私があえてやる必要は全くない。

係争中の新潟地方裁判所

1月臨時議会　1月15日

12月末で平成28年度全体の寄附額を上回る好調な「ふるさと納税」「がんばれ弥彦ふるさと寄附金」の予算3億円から4億2000万円へ

平成30年第1回1月臨時会が開かれ、村長から提案された補正予算1件は、全会一致で原案のとおり可決しました。

平成29年度　一般会計

1億2000万円を追加し、総額は41億7894万2000円となりました。

〈歳入〉
・寄付金
　がんばれ弥彦ふるさと寄附金
　……1億2000万円

〈歳出〉
・総務費　企画費
　……9331万2000円
・諸支出金　寄附金積立基金費
　……2668万8000円

定例会　採決状況一覧

○賛成　×反対　議長は採決に加わらない。

議案	本多啓三	板倉恵一	田中満男	柏木文男	安達丈夫	本多隆峰	小熊正	花井温郎	赤川幸子	採決結果
平成29年度一般会計補正予算（第３号）専決処分報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
平成29年度一般会計補正予算（第４号）専決処分報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
職員の育児休業等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
村税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
交流広場設置条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成29年度一般会計補正予算（第５号）　※修正案	○	×	○	×	×	○	○	○	○	可決
平成29年度一般会計補正予算（第５号）　※修正部分を除く原案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成29年度国民健康保険特別会計補正予算（第３号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成29年度介護保険特別会計補正予算（第３号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成29年度競輪事業特別会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
新潟市と西蒲原郡弥彦村の境界変更の申請について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
字の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
村道の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
道路財特法による補助率等のかさ上げ措置に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

あとがき

新年あけまして
　おめでとうございます。

今年は十二支で云えば戌年に当たります。皆様それぞれに、新たな思いを持って新年を迎えられた事と存じます。

「おもてなし広場」は3月オープン、「弥彦駅前広場」も生まれ変わる。弥彦観光の、新たな流れとなって欲しいと願っている。これから課題は多いと思うが、観光協会のリーダーシップと、行政のバックアップが不可欠である。

彌彦神社とも一体になり、癒しの空間・パワースポットを前面に出してアピールし「何回でも行ってみたい弥彦」が定着することを夢見る一人である。

（T）

発行責任者　武石雅之
編集委員会　本多隆峰　柏木文男
　田中満男　板倉恵一
印刷所　弥彦村　イナバ印刷